



# 園便り 6月号

港区立芝浦アイランドこども園

令和 7年 6月 2日

先日法人の研修で「乳幼児期に育みたい“からだ観”すべての子どもたちに包括的性教育を」というテーマで、和光学園理事、和光小学校・和光幼稚園全校園長の北山ひと美先生に講演をしていただきました。NHK Eテレ「アイラブミー」自分を大切にすることってどういうこと？という番組で性教育の監修をなさっており、日本全国を回って子どもや保護者向けに性教育について講演をしていらっしゃいます。包括的性教育とは、性（セクシャリティ）を、からだところ、人間関係、社会との繋がりなどいろいろな角度から幅広く学ぶ教育であること、知識を学ぶだけでなく、物事の考え方や感じ方の幅が広がる学びであることを知りました。

子どもの性心理発達の特徴として ほんの一部ですが書き出してみます

0歳～1歳は発見の時期、乳児は自分の周りの世界を発見するのにかかり切りになる。そして自分自身の身体を発見しつつある。

2歳～3歳は好奇心と自分の体の探求の時期、自分自身と自分の体に気づきつつあり、自分や他の子どもと大人と違うようだということを学ぶ。自分が男の子か女の子かを学ぶ。

4歳～6歳は規則の学習、遊びと友だち関係の開始の時期、集団生活の中で人々の大きなグループと、より接触するようになり、ますますどう行動すべきか（社会のルール）を学ぶ。自分が男子か女子であることを知り、いつもそうあろうとする。（ジェンダー段階）生殖に非常に興味を持ち、「赤ちゃんはどこから来るの？」といった質問を際限なくする。

幼児期の子どもにたちに伝えたいこと

① からだを肯定的に受け止める ②女性と男性が対等であること ③相手を尊敬、尊重する力を ④からだの権利を学ぶ

子どもたちが自分のからだがいいな、ステキだなと感じられるように、気持ちを尊重した保育をしていくことで、相手を思いやる気持ちが育つことを学びました。

園長 興津 夏子



## ◇ 今月の教育・保育目標 ◇

- 0歳児： 梅雨時の衛生面や一人ひとりの体調に留意し、快適に過ごせるようにする  
保育者とのあていした関わりの中で、ずりばいやハイハイなど体を動かしたりして遊ぶ
  - 1歳児： 梅雨の時期の健康に気を付けながら、心地よく過ごせるようにする  
虫草花、泥など身近な自然に触れ、保育者や友だちと親しむ
  - 2歳児： 保育者や友だちとのかかわりの中で、一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにする  
保育者に見守られながら簡単な身の回りのことをしてみようとする
  - 3歳児： 友だちとのかかわりの中で、簡単な言葉のやり取りを楽しむ  
身の回りのことに興味を持ち、自ら行ってみようとする
  - 4歳児： 遊びの中で自分の思いを伝え、友だちとの関わりを楽しむ  
様々な素材を通して、友だちと一緒に工夫して遊ぶ
  - 5歳児： 玩具や身の回りの物を大切に扱えるよう、必要に応じて言葉をかけていく  
友だちと様々な活動に向けて、思いを伝えあったり協力したりしながら取り組み、期待を膨らませる
- 一時保育： 一人ひとりの生活リズムの中で、保育者と関わりながら安心して過ごす  
保育者と一緒に興味のあるものに触れたり玩具で遊んでみようとする



ほっとするコーヒーやさん 6月18日（水）1階エントランス

17：00～18：00 降園後にコーヒーはいかがですか？